

「草むらにすむ日本最小のネズミ、カヤネズミの生態と保全」

講師：滋賀県立大学環境科学部 畠 佐代子 先生

日時：2019年6月2日 10:30～12:00

場所：本校 第2化学実験室

本日は、畠先生を本校にお招きし、「草むらにすむ日本最小のネズミ、カヤネズミの生態と保全」というテーマで講演を頂いた。前半では、カヤネズミの身体的特徴や繁殖・生息域等について学び、後半では、カヤネズミを巡る誤解とその解消についての研究を見させていただいた。

カヤネズミは大阪府の準絶滅危惧種に指定されているネズミで、全国的に見ても生息域が後退している生物のひとつである。大きな原因のひとつに生活域（1.0m～1.5m 程度のススキやオギの生えた草場）の後退が考えられており、都市化が進む現代の日本において耳の痛い問題のひとつであると感じた。本校周辺には見られないかもしれないが、今でも光明池近辺の草場の中で見ることが出来るらしいので、生徒の皆さんは、見つけたときは観察するのと同時に保全についても考えて欲しい。

